

絆

清水はやと ニュースレター KI-ZU-NA

さいたま市長
清水はやと
2021(令和3)年5月号



【プロフィール】 昭和37年3月生まれ。日本大学法学部卒業。(公財)松下政経塾卒業(第7期生)。衆議院議員公設第一秘書、埼玉県議員(見沼区)2期を経て、平成21年さいたま市長選に初当選。平成25年、得票を大きく伸ばして再選。平成29年、3選を果たす(現在3期目)。著書に『2010年霞ヶ関物語』(二期出版)、『犯罪のない安全なまちをつくろう』(共著/埼玉新聞社)、『さいたま市未来想像図』『スポーツで日本一笑顔あふれるまち』『もっと身近に、もっとしあわせに』『子どもが輝く絆で結ばれたまち』『人と人を絆で結ぶスマートシティ』(埼玉新聞社)などがある。さいたま市社会福祉協議会会長、指定都市市長会副会長ほか。平成25年「マニフェスト大賞 首長グランプリ」受賞。

新型コロナウイルスを乗り越えよう！

市民とともに希望へ――

さいたま市は約133万の人口を擁し、成長力、財政の健全性、幸福度において、政令指定都市のトップクラスに成長しています。そして今年、誕生20周年を迎えることができました。

その歴史の半分以上、12年にわたって、私は市長として、市民の皆さんとともに汗をかき、地域や市全体の課題解決に取り組む、多くの実績につながりました。私はこの節目に、さいたま市を「ONE TEAM AM」にするべく、「市民憲章」や「市民の日」の制定、新しい目標である総合振興計画づくりに取り組みました。

懸案だった市役所本庁舎は、2030年を目途に、さいたま新都心地区への移転を目指します。現庁舎跡地には、県都である文教都市・浦和にふさわしい拠点整備を行います。加えて、大宮駅周辺の商業という強みを活かして、2つの都心(大宮・さいたま新都心+浦和)の一体性をより高め、4つの副都心との連携をシンカさせる考えを表明しました。

「生命を守る」最優先 皆さんと心をつなぐ

新型コロナウイルス感染症の猛威は、依然として収束が見通せません。私はこれまで、市民の皆さんの「生命を守る」を最優先に、市民の「生活を守る」、地域の「経済を守る」を大きな柱に据えて、総額2135.5億円を超える大規模な予算を編成し、感染対策を進めてきました。

県内主要都市や首都圏の政令指定都市と比較すると、重症化率などの指標は低い水準で踏みとどまっています。医療従事者、福祉関係者をはじめ市民一人ひとりのご協力あつての結果だと思っています。本当にありがとうございます。

ワクチン接種が始まりましたが、新型コロナとの闘いは、これからも続きます。私たち行政も全力で対策強化に努めます。市民の皆さんと心をつなぐ一歩として、新型コロナを乗り越えていかなければなりません。引き続き、ご協力をお願いします。

市民とともに、新型コロナと闘う



ワクチン接種に向けた訓練を行いました

大野知事と街頭でマスク着用を呼びかけました

医療・PCR検査体制などについて、各種メディアで情報発信しています

新しい観戦スタイルを模索しています

時短営業などへの理解と協力をいただきました

■新型コロナウイルス感染状況(首都圏主要都市の比較)

自治体名(人口)	重症化率(重症者数/現病者数)	人口10万人当たりの死者数	人口10万人当たりの新規報告者数
さいたま市(1,324,589人)	0.8%	5.6人	16.1人
川口市(607,373人)	0.0%	10.0人	15.8人
越谷市(345,482人)	-	7.8人	25.8人
川崎市(353,260人)	-	8.8人	6.5人
埼玉県(7,342,684人)	1.8%	9.9人	14.9人
横浜市(3,759,267人)	0.9%	9.4人	11.7人
川崎市(1,521,104人)	2.7%	9.6人	24.0人
相模原市(723,097人)	-	8.0人	11.8人
千葉市(982,429人)	0.0%	8.3人	17.0人

※さいたま市、埼玉県以外のデータは、公表されている報告数及び療養者数をもとに計算した参考値。
※人口は、令和3年1月1日時点を使用。
※速報値のため変更される可能性がある。
※HP公表時期の違いにより、基準日は各自治体で前後する。

新型コロナ対策 感染拡大を防ぐ・抑え込む

ワクチン
接種

4月12日 高齢者施設 開始

5月10日頃 85歳以上予約開始(予定)

※以降、年齢ごとに順次実施 ※4月21日時点

個別接種(病院及び診療所) 270カ所

集団接種(区役所をはじめとする公共施設、民間施設など) 14カ所

市民の「生命」を守る

速やかな情報提供・発信の強化、素早いワクチン接種、PCR検査体制の拡充強化、医療体制の確保・強化

市民の「生活」を守る

ひとり親家庭など生活困窮世帯に対する支援強化、新しい生活様式への転換支援の充実

地域の「経済」を守る

雇用の維持、経営資金の確保、新しい生活様式に対応した経済活動の支援強化、需要創出の支援強化



緊急事態宣言。街頭に立ち外出自粛をお願いしました



飲食店へ出向き、協力をお願いしました



感染防止へ引き続きご協力をお願いします

市民一人ひとりがしあわせを実感できるまち

市民とともに希望へ

さいたま市をシンカさせよう!

人口減少と超高齢化、災害や新たな感染症などの危機——私たちはこれらの課題にどう立ち向かえばいいのでしょうか。

市長として3期12年、市政の課題に全力で取り組んできた清水はやと市長。さいたま市の未来を見据えて、「都市の強靱化」「SDGs」「さいたま市ブランド」をテーマに、「デジタル化」や「公民学共創」によって、さいたま市をさらにシンカさせようとしています。市民の皆さん、ともに希望へと歩んでいきましょう!

4つのシンカを実現します。

レジリエント・シティ

都市強靱シンカ計画 新型コロナ・災害に強い都市をつくる

① 新たな感染症に打ち勝つ強い都市をつくる

〈市民の生命を守る〉速やかな情報提供・発信の強化、公衆衛生体制の強化、感染予防・検査体制・ワクチン接種の拡充

〈市民の生活を守る〉ひとり親家庭など生活困窮世帯に対する支援、新しい生活様式への転換支援の充実

〈地域経済を守る〉新しい生活様式に対応した経済活動の支援、中小企業のCX/DXの推進

② 地震や自然災害に強い都市をつくる

グリーンインフラの活用による広域防災機能の拡充と地域防災力の強化、自然災害に強い治水機能の拡充、防災情報の発信の強化

しあわせシンカ計画 SDGsを実現する—「住みやすい」90%超へ

① 子ども・若者のしあわせシンカ

子ども一人ひとりの夢と生きる力を育む教育環境の充実
子育て楽しいさいたま市の実現

② 女性のしあわせシンカ

女性一人ひとりが輝くまちの実現

③ 高齢者のしあわせシンカ

健康長寿で生涯現役のまちの実現

④ 障がい者のしあわせシンカ

障がい者の社会参加を増やし、共に暮らすノーマライゼーション地域社会の実現

⑤ 医療・健康のシンカ

人生100年時代に対応した予防・医療・救急体制の拡充と健康経営の推進

⑥ 文化芸術による豊かさのシンカ

地域および伝統文化を守り、新たな文化を創造する
文化芸術創造都市の推進

⑦ 安心・安全のシンカ

市民・事業者とともにつくるICTを活用した
犯罪・事故のないセーフコミュニティ

⑧ 自然環境のシンカ

地域循環共生圏と環境共生都市づくりの推進

⑨ 暮らしやすさと絆のシンカ

暮らしやすいまちづくりとデジタルを活用した
地域コミュニティの強化
利便性の高い公共交通システムの構築

⑩ 地域経済のシンカ

経済支援策の充実とSDGs認証企業の支援、
雇用の維持・確保と就労機会の創出

成長シンカ戦略

さいたまブランドを確立する

- 東日本中枢都市とデジタル化に対応した東日本の広域経済圏の推進
都心の一体性をより高め、「文教都市」浦和にふさわしい文化施設を整備
- ゼロカーボンシティ・スマートシティの推進と、見沼新セントラルパーク(仮称)の推進
- デジタルを活用したスポーツ・健康・医療産業の育成と国際スポーツタウンの構築
- 地域文化・資源・デジタルを活用したMICE戦略と、農業・食のデジタル化による産業育成
- 公民学共創によるグローバル企業の育成とベンチャー育成、中小企業のDXの推進
- デジタルを活用した国際教育文化都市の創造とグローバル人材の育成

市役所シンカ計画

市役所の幸せ経営を実現する

「見える改革」「生む改革」「人の改革」による幸せ経営の推進を目指し、市役所のDX「さいたまデジタル八策」の推進と公民学共創による公共サービスの構築



徹底した現場主義!

12年間の現場訪問数

1,216回

「成長性」×「健全財政」×「市民満足度」 市民とともに、政令指定都市トップレベル

トップレベル SDGs 先進度ランキング **全国1位**

国連の「持続可能な開発目標」(SDGs)への自治体の取り組みを、日本経済新聞社が全国815市区を対象に調査。総合評価でさいたま市が先進度1位に。

※日本経済新聞社調査

トップレベル 全20政令指定都市 幸福度 **全国1位**

※「全47都道府県幸福度ランキング 2020年版」(東洋経済新報社)



グラフに注目! 10.4ポイントUP

トップレベル 「住みやすい」 **過去最高 86.3%**

平成20年度(市長就任前)から10.4ポイント上昇して、過去最高になりました。

※令和2年度さいたま市民意識調査(さいたま市)

01 **トップレベル** 転入超過(0~14歳) **全国1位**

子どもの転入超過数は全国1位。さいたま市は子育て世代に選ばれるまちです。平成27年から**6年連続**。

※「住民基本台帳人口移動報告(2019年結果)」総務省

03 **しあわせ倍増** 小中学生の学力 政令指定都市 **1位**

※令和元年度全国学力・学習状況調査

05 **しあわせ倍増** 自己肯定感 小中学生 政令指定都市 **1位**

※「自分には良いところがある」と感じている小中学生 ※令和元年度全国学力・学習状況調査。政令指定都市の比較

02 **しあわせ倍増** 扶助費の伸び率 政令指定都市 **1位**

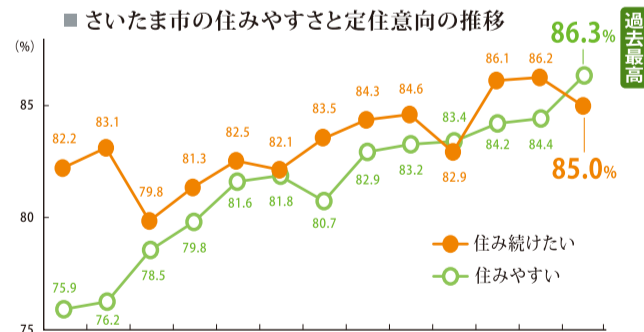
高まる保育需要などに対応するための「扶助費」。平成20年度(市長就任前)と令和元年度を決算ベースで比較した伸び率(2.3倍)は、政令指定都市の中で第1位。令和3年度(年度当初予算)は2.7倍に増やしました。

04 **しあわせ倍増** 英語力 中学生 **全国1位**

※令和元年度全国学力・学習状況調査

06 **しあわせ倍増** 学校へ行くのが楽しい 小中学生 政令指定都市 **1位**

※令和元年度全国学力・学習状況調査。政令指定都市の比較



現場主義! 学校訪問



現場主義! 特別支援学校訪問



現場主義! タウンミーティング



地域との絆を大切に



災害に強いまちをつくる



オンラインでシティセールス



さいたま市を全国へ発信



さいたま市を国へ(国土交通大臣へ要望)



東日本連携・創生フォーラム



環境未来都市を目指して



"健康"長寿のまちづくりを



スポーツで笑顔があふれるまちに



編集・発行 / 勇政会 (清水はやと後援会) 〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮7-70-3-1F

TEL.048-686-9940 FAX.048-686-9941 [清水はやと ホームページ] <https://shimizu-hayato.jp>

LINE 公式アカウント



日本一地域の絆で結ばれたまち